IPSiO CX2500

かんたん セットアップ

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「使用説明書＜保守・運用編＞「安全上のご注意」」をお読みください。

1 同梱品を確認してプリンターを取り出す

⚠注意

- プリンター本体は約31.5kgあります。機械を移動するときは、両側面下部にある取っ手を２人で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

1 梱包箱を開けて同梱品を取り出し、すべて揃っていることを確認します。不足品や不具合があった場合は、購入された販売店までご連絡ください。

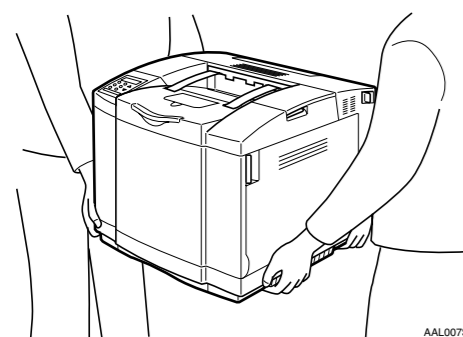
重要

❒ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについては「8.パソコンとプリンターを接続する」を参照してください。

- ☑かんたんセットアップ（本書）
- ☐使用説明書＜オプション設置編＞
- ☐使用説明書＜保守・運用編＞
- ☐CD-ROM
- ☐お客様登録はがき(仮保証書)
- ☐リコー製品サービス相談窓口一覧
- ☐IPSiO コールセンター シール
- ☐名刺ケース
- ☐はがきアダプター
- ☐感光体ユニット
- ☐2P 電源コード
- ☐イーサネットケーブル用コア
- ☐コントローラーボード用ねじ回し
- ☐カラー階調補正値設定シート
- ☐マイパンク＆QA 登録票（梱包箱上部に貼られています。）

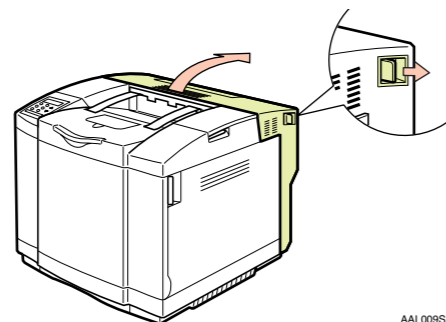
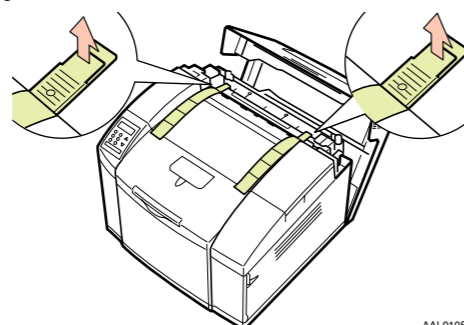
2 プリンターを覆うビニールを開きます。

3 プリンターを持ち上げ、設置する場所に移動させます。

プリンター下の左右にある運搬用取っ手に手を差し込んで２人以上で持ち上げてください。

重要

❒ プリンターを低い位置に設置するときは、指や服をプリンターに挟み込まないようにしてください。

4 プリンターの可動部を固定しているテープを取り除きます。

5 後ろカバーオープンレバーを引いて、後ろカバーを開けます。

6 赤い札が付いたオレンジ色の固定材を引き抜きます。

重要

❒ 固定材を付けたままプリンターを使用すると、定着不良が発生します。必ず、引き抜いてください。

7 後ろカバーを閉じます。

2 設置環境、電源・アースを確認する

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。

⚠警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

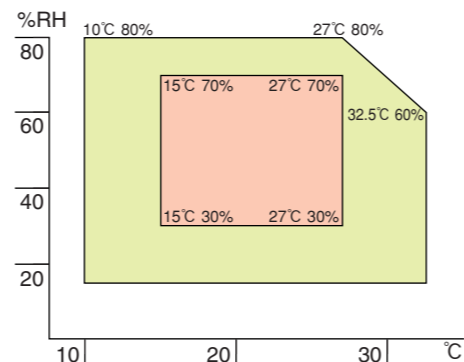
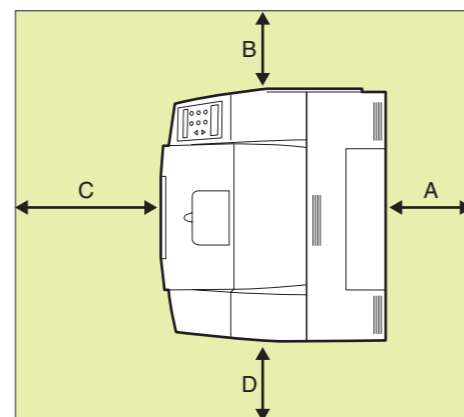
⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

1 設置環境を確認します。

水平で、たわんだり、がたついたりしないテーブルなどの上に設置してください。

●設置する台の水平度：前後左右4.5mm以下

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。

用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、目安として図のようなスペースを確保してください。

A：25cm以上(両面印刷ユニット装着時は35cm以上)

B：20cm以上

C：70cm以上

D：50cm以上

2 電源を確認します。

プリンターの電源は100V、13A以上、50/60Hzの電源を使用してください。

3 アースを確認します。万一漏電した場合の感電や火災を防止するため、アース線を以下のいずれかに接続します。

●コンセントのアース端子

●接地工事(D種)を行っているアース線

重要

❒ ガス管や水道管には絶対に接続しないでください。火災やガス爆発の原因になります。

3 トナーカートリッジを準備する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠注意

- 前カバーを開くときは、給紙トレイが引き出されていないことを確認してください。手をはさんでけがをすることがあります。

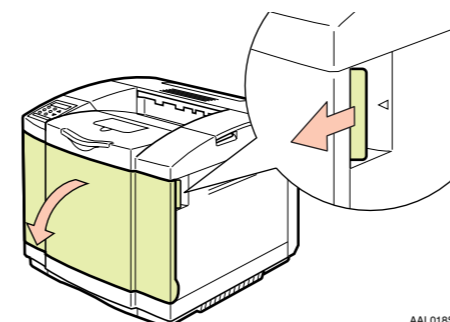
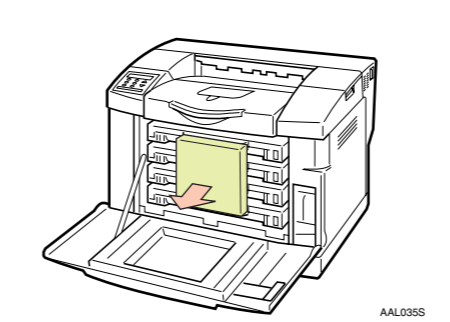
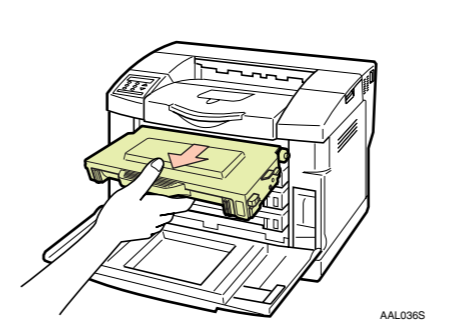
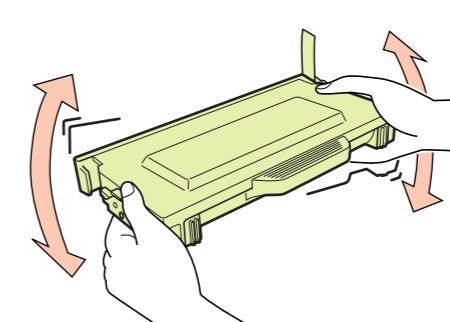
⚠注意

- トナー（使用済みのトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

重要

❒ トナーカートリッジが取り付けられている場所は、上から順番にブラック（K）、イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）です。

トナーカートリッジは本体内部に同梱されています。ここでは、トナーカートリッジを準備する手順を、ブラック (K) のトナーカートリッジを例にして説明します。その他のトナーカートリッジも同じ手順で準備してください。

1 前カバーオープンレバーを引き、前カバーを開けます。

2 ４つのトナーカートリッジを固定している固定材を取り外します。

3 一番上にセットされているトナーカートリッジ（ブラック）を取り外します。

4 トナーカートリッジ（ブラック）を図のように3～4回振ります。

重要

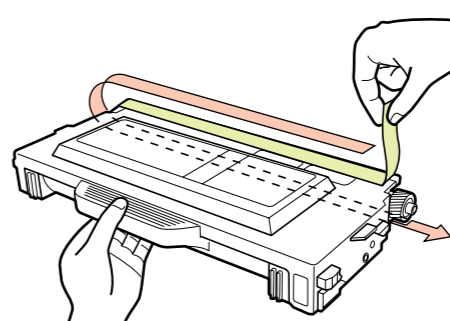
❒ この操作は、トナーカートリッジ内のトナーを均一にするために行います。トナーカートリッジ内でトナーが均一でないと、印刷品質が低下することがあります。

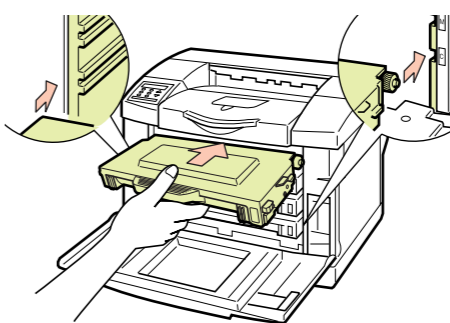
5 トナーカートリッジを図のように片手に持ち、保護カバーを固定しているテープをはがして、保護カバーを取り外します。

重要

❒ テープは、トナーカートリッジの表側から裏側にかけて貼られています。すべてはがしてください。

❒ 保護カバーを取り外した後に現れる現像ローラに触れないでください。印刷不良の原因になります。

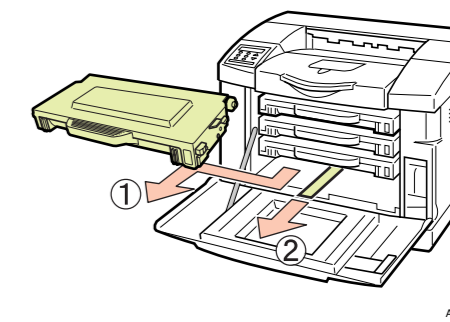
❒ 保護カバーを取り外した後は、トナーがこぼれやすくなっています。トナーカートリッジを振ったり、衝撃を与えないでください。

6 元の場所にトナーカートリッジ（ブラック）を取り付けます。

シールが貼られている面を上にして、プリンター側のKの位置に合わせ、ガイドレールに沿って差し込んでください。

重要

❒ トナーカートリッジは無理に押し込まないでください。

❒ トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れる場合があります。

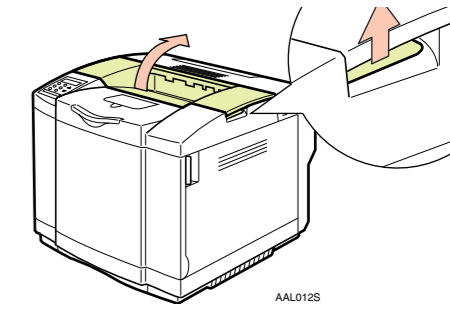
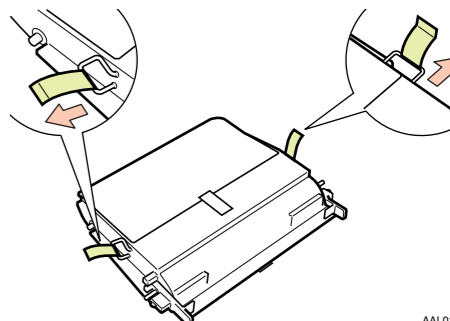
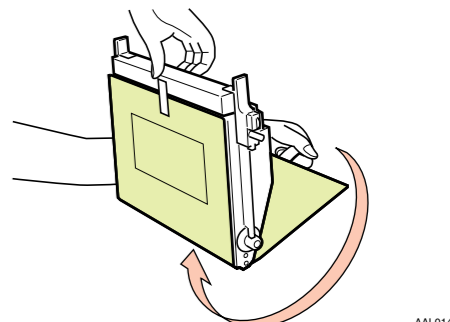
7 手順3～6を繰り返し、他のトナーカートリッジを準備します。

8 一番下のシアンのトナーカートリッジを取り出します(①)。次にその下にあるオレンジ色のテープを引き抜いて保護紙を引き剥がします(②)。その後シアントナーを再度装着します。

9 前カバーを閉めます。

4 感光体ユニットをセットする

重要

❒ 感光体ユニットは、長時間光に当てると性能が低下します。交換は速やかに行ってください。

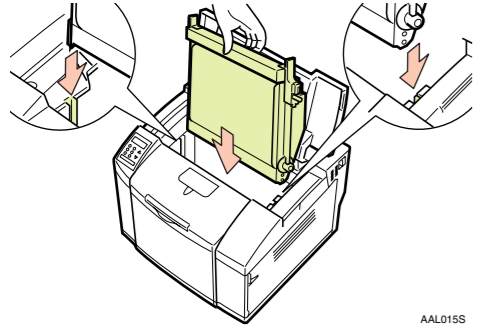
1 上カバーオープンレバーを押し上げて、上カバーを開きます。

2 感光体ユニットの左右のベルト解除ピンを外します。

3 感光体ユニットを図のように片手に持ち、もう一方の手で保護シートを外します。

重要

❒ 感光体ベルトの表面に触れないでください。印字品質劣化の原因になります。

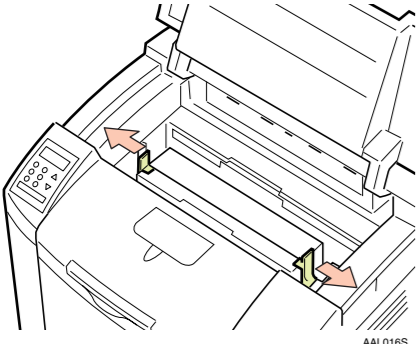
❒ 保護紙を外したあとの感光体ベルトの表面には白い粉が付着していますが、拭き取らないでください。拭き取ると、正常に印刷ができなくなります。

2004 年 2 月　G108-8502　JA

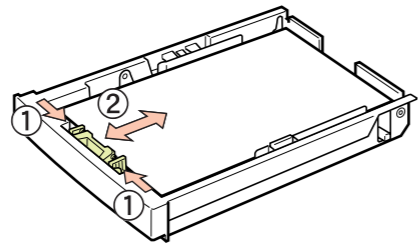
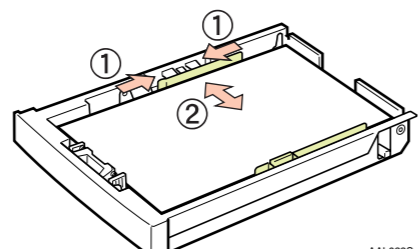
つづく

4 感光体ユニットの緑色の面を手前にして、ガイドに沿って差し込みます。

重要

❒ 感光体ユニットの表面に傷を付けないように、静かに差し込んでください。

5 左右のロックレバー(緑色)を外側に倒して、感光体ユニットをロックします。

6 上カバーを閉じます。

上カバーの中央を、ロックするまでしっかり押してください。

3 フロントガイドと用紙の間にすき間がないことを確認します。すき間がある場合は、フロントガイドの両端(①)をつまんで、セットした用紙との間にすき間ができない位置までフロントガイドを移動させます(②)。

4 サイドガイドと用紙の間にすき間がないことを確認します。すき間がある場合は、両端のレバー(①)をつまんで、セットした用紙との間にすき間ができない位置までサイドガイドを移動させます(②)。

5 給紙トレイをカチッというまで差し込み、本体にセットします。

重要

❒ 給紙トレイは奥まで確実にセットしてください。前カバーとの干渉や紙づまりの原因になります。

5 給紙トレイに用紙をセットする

⚠注意

- 給紙トレイを引き出すとき、強く引き出さないでください。トレイが落下し、けがの原因になります。

ここではA4サイズの用紙をセットします。セットできる用紙と向きについては、使用説明書<保守・運用編>「用紙について」を参照してください。

1 給紙トレイをゆっくり引き抜きます。

引き抜いた給紙トレイは、水平な場所に置いてください。

2 印刷する面を上にして、用紙を揃えてセットします。

重要

❒ セットする用紙の量は、トレイ内に示された上限表示(▼)を超えないようにしてください。

❒ 種類の違う用紙を給紙カセットに混在させないでください。

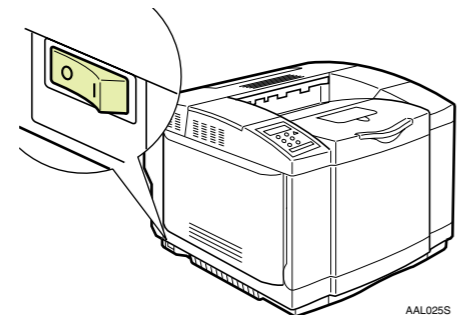
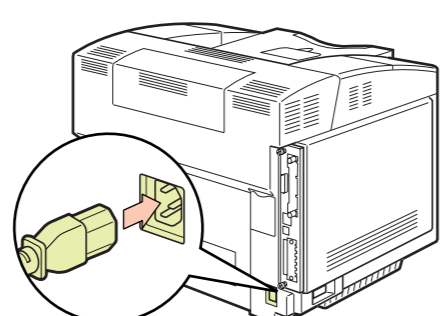
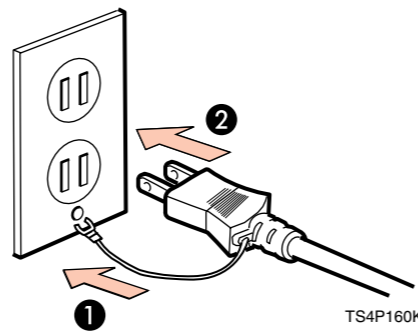
6 電源ケーブルを接続する

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2 背面右下の電源コネクターに、電源ケーブルを接続します。

3 電源ケーブルをコンセントに接続します。

プリンターのアース端子は、必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事(D種)を行っているアース線

重要

❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってください。

7 テスト印刷をする

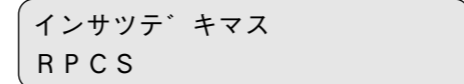
プリンターが正常に印刷できることをテスト印刷で確認します。テスト印刷は、プリンターの動作を確認するもので、パソコンとの接続状態を確認するものではありません。

ここでは、システム設定リストを印刷します。

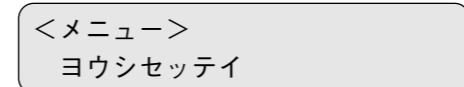
1 プリンターの電源を入れます。

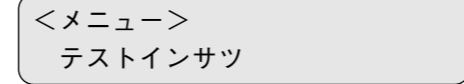
初期調整が約20秒間実行されます。初期調整中は、操作パネルのディスプレイに「オマチクダサイ」というメッセージが表示されます。

初期調整が完了すると、操作パネルのディスプレイに次のメッセージが表示され、電源ランプとオンラインランプが点灯します。

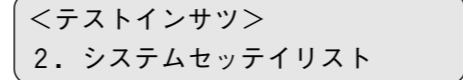
```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

2 【メニュー】キーを押します。

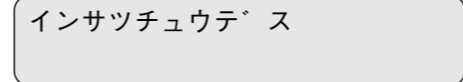
メニュー画面が表示されます。

```
<メニュー>
 ヨウシセッテイ
```

3 【▲】または【▼】キーを使用して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 テストインサツ
```

テスト印刷する内容を選択する画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを使用して「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。

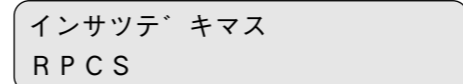
```
<テストインサツ>
2．システムセッテイリスト
```

次の画面が表示されシステム設定リストが印刷されます。

```
インサツチュウデ゛ス
```

重要

❒ 正常に印刷できない、紙詰まり、印刷結果がおかしいという場合は、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は、使用説明書<保守・運用編>「こんなときには」を参照し、エラーの対処をしてください。

5 【オンライン】キーを押します。

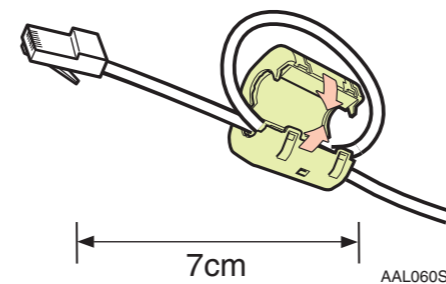
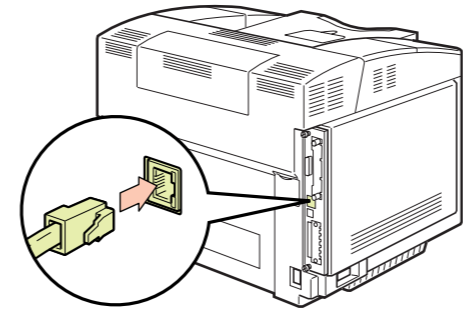
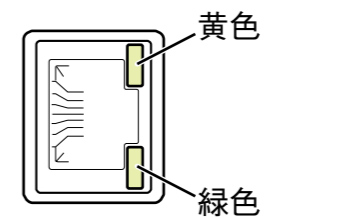
通常の画面に戻ります。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

8 パソコンとプリンターを接続する

プリンターを接続します。

- イーサネットケーブルでプリンターをネットワークに接続する場合、「イーサネットケーブルでプリンターをネットワークに接続する」を参照してください。
- パラレルケーブルでプリンターをパソコンに接続する場合、「パラレルケーブルでプリンターとパソコンを接続する」を参照してください。
- USBケーブルでプリンターとパソコンを接続する場合、「USBケーブルでプリンターとパソコンを接続する」を参照してください。

イーサネットケーブルでプリンターをネットワークに接続する

1 プリンターにはイーサネット用インターフェースケーブルに取り付けるコアが同梱されています。ケーブルのプリンター本体側のコネクターから約7cm(①)の位置に、図のような2重の輪を作り、コアを取り付けます。

2 本体背面のコネクターに、イーサネットケーブルのコアを取り付けた方を接続し、もう一方をHUB(ハブ)などのネットワーク機器に接続します。

3 イーサネットケーブルを接続した本体背面のコネクターのランプ(LED)を確認します。

黄色は、100BASE-TX動作時は点灯し、10BASE-T動作時は消灯します。

緑色は、ネットワークに正常に接続している場合に点灯します。

4 操作パネルからプリンターのネットワーク設定を行います。

操作パネルを使ったネットワーク設定については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

パラレルケーブルでプリンターとパソコンを接続する

重要

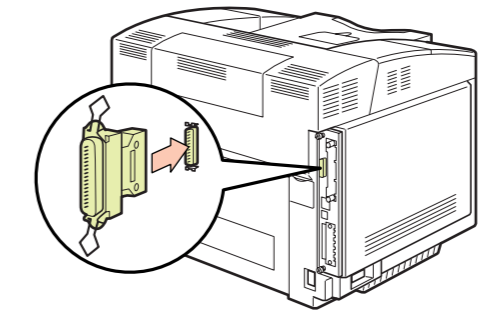
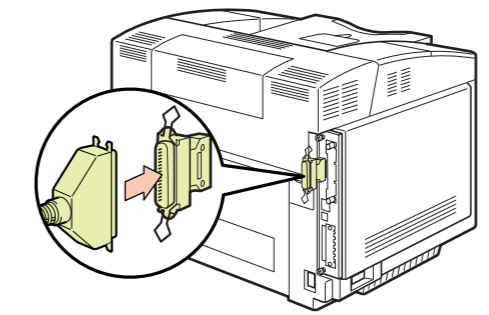
❒ インターフェースケーブル、およびパラレルインターフェース変換コネクターは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。

❒ インターフェースケーブルをお買い求めの際は、使用説明書<システム設定編>「付録」の「関連商品一覧」を参照してください。

❒ パラレルインターフェース変換コネクターをお買い求めの際は、ご使用のパソコンのコネクタ形状を確認し、本製品のカタログでコネクタ形状に適したパラレルインターフェース変換コネクターをご確認ください。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

❒ 電波障害を起こすことがありますので、インターフェースケーブルは、シールドケーブルをお使いください。

1 プリンターとパソコンの電源を切ります。

2 パラレルインターフェース変換コネクターを、本体背面のパラレルインターフェースコネクターに取り付けます。

3 インターフェースコネクターにパラレルケーブルを接続して両側の金具で固定し、もう一方をパソコンのインターフェースコネクターに接続します。

4 プリンターとパソコンの電源を入れます。

5 プリンタードライバーをインストールします。

- かんたんにプリンタードライバーをインストールするには、使用説明書<クライアント編>「おすすめインストール」を参照してください。
- 詳細な設定をしながらプリンタードライバーをインストールする場合は、使用説明書<クライアント編>で、ご使用中のWindowsについて記載されている章の中の「パラレルインターフェースを使う」を参照してください。

USBケーブルでプリンターとパソコンを接続する

重要

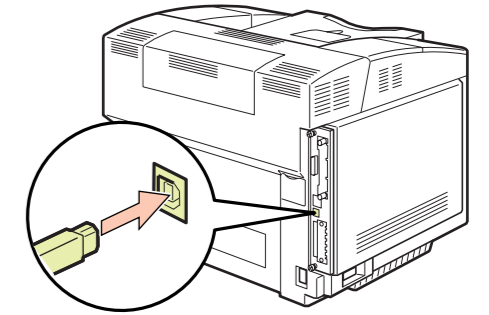
❒ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。

❒ インターフェースケーブルをお買い求めの際は、使用説明書<システム設定編>「付録」の「関連商品一覧」を参照してください。

補足

❒ USB接続は、Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003、MacOS 9.x、MacOS Xに対応しています。

- Windows 98 SE/Meのサポート速度はUSB1.1相当です。
- Macintoshでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。

1 プリンター背面のコネクターにUSBケーブルの小さい方のコネクターを接続し、もう一方をパソコンのUSBインターフェースまたはUSBハブなどに接続します。

2 プリンタードライバーをインストールします。

- Windowsの場合、使用説明書<クライアント編>で、ご使用中のWindowsについて記載されている章の中の「USBインターフェースを使う」を参照してください。
- Mac OS、Mac OS Xの場合、使用説明書<クライアント編>「Mac OSで使う」を参照してください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス実施店にご相談ください。

修理については、修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、「IPSiOダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240(コールはイプシオ)

●受付時間:9〜12時、13〜17時(土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く)

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5　リコービル 〒107-8544
Tel:(03)3479-3111(代表)

Printed in Japan　2004年2月　G108-8502　JA